

第4回 寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議

日時：平成27年2月24日（火）13：30～

場所：寝屋川市役所議会棟4階第1委員会室

1. あいさつ

会長 開会のあいさつ

2. 案件

(1) 産業振興に関する市の施策について（平成26年度実施分）

(事務局) 産業振興室が平成26年度に実施している主な施策について、スライドを用いてご説明させていただきます。

(商業、工業、農業、連携・協働の順に説明)

※資料参照

【質疑応答】

(会員) レンゲ畑の開放について、目的と効果は？

(事務局) 作付前にレンゲを植えた農地を市民に開放することで、農に対して親しみを持っていただくことと、田一面にレンゲが咲くことによる景観形成を兼ねて実施しています。残ったレンゲは乾燥させて、土に鋤きこむことで肥料の一部として活用しています。

(会員) レンゲは作付けにいいと聞いているが。

(事務局) レンゲの根っこには根粒菌があり、そこに栄養分が含まれています。そのレンゲを刈って乾燥させ、土に鋤き（すき）込むことで、天然の有機肥料を多く含んだ豊かな田んぼになります。また、農家にとっては化学肥料に対する費用を軽減することができます。

大阪府が推進する「エコ農産物認証制度」は、農薬の使用量が標準的な使用量の半分以下で栽培された農産物をエコ農産物として認証する制度のことで、有機肥料が含まれたレンゲ畑でできるレンゲ米も、エコ農産物に認定されやすくなります。また、市内で収穫されたレンゲ米は北河内農協で「れんげっ娘」という名前で販売されています。

景観形成につきましては、①まちの中での景観づくり②普段入れない農地に市民の方が入っていただくことで、農業を身近に感じていただくことができる③農家にとっては肥料にもなるという、3つのメリットを持つ事業とな

っています。

(会員) レンゲ以外でそういったエコ農産物というものはありますか。レンゲのような役割を果たす他の植物はありますか。また、レンゲそのものは出荷していないのですか。

(事務局) エコ農産物は、一般的に販売されている野菜も含まれています。景観形成事業としては、レンゲ以外にコスモスやひまわりがありますが、肥料となるメリットはありません。また、レンゲは肥料として活用しており、出荷はしていません。

(会員) 昔から寝屋川が大葉の産地であると言われていたが、地元に残るべき産業として可能なのでしょうか。

(会員) 現在栽培しているのは2件だと聞いています。

(会員) 農業を営んでいる方の平均年齢が65歳だと聞いたことがあるが、10年先も市内で大葉栽培を含む農業が営まれるためにも、若い人が農業を起業できるシステムを構築した(コンテストを開催した)こともあり、市としても農業振興施策を積極的に実施していただきたい。

(1) 産業振興に関する市の施策について(平成27年度実施予定分)

(事務局) 産業振興室が平成27年度に実施を予定している主な施策について、ご説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。

(商業、工業、農業、連携・協働の順に説明)

※資料参照

【質疑応答】

(会員) 買い物弱者の施策についてですが、宅配業者に対して補助するということがよいのでしょうか。また、業者はどのように収益を得るのでしょうか。

(事務局) 商店街や商店街の連合組織に対して支援させていただく予定です。事業者は主に配達料から収益を得られるのではないかと想定しています。

(会員) 買い物する側の本音を言えば(宅配ではなく)買い物場所まで行って、自分の目で商品を選びたいという思いが強いのではないですか。

(会員) 究極の願いはおっしゃる通りですが、こういう(宅配)方法もありかなとは思っています。

(事務局) 市の福祉部門で送迎サービスを行っていますが、地域が限定されており、利用者も少ないと聞いています。産業振興室としては、異なる視点で買い物

弱者対策の事業を実施したいという思いから、今回の新規事業を実施するに至りました。

(会長) 産業振興で実施する事業は、商業振興を念頭に置いた策になります。平成27年度の新規事業としては、他にも高齢介護室がバスカードの購入補助を行う予定です。

(会員) 「元気わくわく商品券」についても、平成27年度は、国の交付金を活用し、冊数及びプレミアム分を拡充し実施する予定です。詳細につきましては、現在調整中です。

(会員) 機器設備導入支援についてですが、どのくらいの予算で何件くらいを想定されていますか。また、「事業拡大を目的とした」とあるが、具体的にどのような内容ですか。

(事務局) 予算は3件分、1,500万円（1件あたり上限500万）です。今回の国の交付金の目的は、「事業拡大後、売上が上がることで、それを従業員の給料に反映させる」ことなので、複数申請がある場合は、より効果があると見込まれるものを選定させていただきたいと考えています。また、事業拡大とは、古い機械を買い替えることでどのような効果があるのか、例えば、機械が新しくなれば能力が上がり省エネに繋がる等は当然だと思われるので、それ以外のことも含めて、申請書に落とし込んでいただいたものを点数化し、最大3社を選定させていただきたいと考えております。

(会員) 創業の施策についてですが、「産業競争力強化法」はいつごろ制定されたものですか。また「創業支援セミナー」は初めて開催されるのですか。

(事務局) 強化法は、1年ほど前（平成26年1月20日）に制定されました。セミナーにつきましては、今までも創業の心得をテーマとしたセミナーは開催していましたが、これからは「創業支援計画」に基づき、金融機関や商工会議所と連携を図る中で、「財務」「経営」「人材育成」「販路開拓」のテーマに沿った4回コースのセミナーを開催します。

(会員) 秋に大型商業施設ができると聞いていますが、市にとってのメリット、デメリットはあるのでしょうか。

(会長) 市内の既存商業施設との競争が激しくなるのではないかという点については、寝屋川市の商業は、今までも量販店と個店が共存共栄で発展してきた経過があります。今回の出店は個店に対してよりも、むしろ量販店に対す

る影響が大きいのではないかと考えています。また、2～3千人の雇用が生まれると聞いており、市にとっては雇用の拡大が見込まれるという点ではありがたいと思っています。課題としては、近隣での交通渋滞が懸念されており、商業施設側も対策を考えているとのこと。

(会長) 4月より、消費生活センターが市民課に属する組織から産業振興室に属する組織に変更になります。商業及び農業をはじめとする産業と消費者との関わりが強いこともあり、また産業振興条例の実効性を高める目的のために、今回の所属変更になります。

(2) 会員の皆様からの情報提供について

(事務局) まずは〇〇さんお願いします。

(会員) お手元に公開講演会のご案内を配付させていただいています。北大阪工業クラブという異業種団体が主催で、関西医科大学との産学連携の取組の一つとして開催されます。お時間があればご参加いただければと思います。

(事務局) 続きまして、〇〇さんお願いします。

(会員) 1つは、本校の見学会のご案内です。大学の植物工場が堺市にあるので希望があればお越しいただければとおもいます。もう1つは、市が実施しているワガヤネヤガワプロジェクトの一つとして、夏休みに地域の子どもたちを招いて、学校見学会を兼ねたイベントができればと考えています。最近、入学希望者が減少傾向にあるため、まずは地元の子供たちに興味をもってもらいたいとの思いから、クラブの体験なども含めて開催したいと考えています。このイベントが継続的に実施することになれば、皆さまにもご協力いただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、毎週月曜日に東大阪のMOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）に常駐することになりましたので、ご協力できることがあればおっしゃってください。

(会員) 水耕栽培でLEDを当てて、野菜を研究されているのですか。

(会員) 現在、農業系と経産省の二つのファンドから支援を受けて研究中で、大量生産して大量に売る工場が今年の夏頃に完成予定です。

(会長) 植物工場は一度伺ったことがあります。当初はプラントごと輸出するこ

とを想定されていたと記憶していますが。

(会員) 建物ごとが商品になる実験棟が現在建設中です。

(会長) 話は変わりますが、レオナルド・ダ・ヴィンチ・ミュージアムの分館を日本に建設できないかというプロジェクトは今どうなっていますか。子どもの理科離れを防ぐための取組として、以前から積極的に取り組まれていたと思いますが。

(会員) 今はNPOを立ち上げ、どこでも作品を見ることができるバーチャルな博物館の創立を目指し、グランフロントで事務所を構え活動されています。主に子供向けの工作教室を開催しておられると聞いています。

(会長) 非常に興味深い取り組みですので、動きがあればこの場でご報告いただければと思います。

(会員) 産業振興に直接関係はないかもしれないが、当病院は2月1日より病床数を200から199に減らすことで、初診時に選定療養費が不要になり、これからは紹介状がなくても受診していただけるようになりました。また、夕診も実施しており、今後も市民病院的役割を果たしていければと考えています。

(会長) 紹介状がなくても受診ができることは、市民にとってとても有難いことです。最近では医療ツーリズムということで、日本の高度医療を受診し、観光もして帰る外国人観光客が増えていると聞いています。産業の視点から見ても、色々な可能性を生むのではないかと思います。

(会員) 2年前頃から国の経済対策の一環で、各商店街が照明のLED化、看板を新しく付け替え、防犯カメラの設置等に取り組んでいます。

(会員) 先ほども話があったが、今秋、大型商業施設が市内にオープンする予定だが、オープン後は他のスーパーなど量販店も含めて、市内全域で一緒に産業振興に取り組んでいこうと考えています。

(会長) 少子化、人口減少の傾向の中で、大型商業施設ができると、既存店舗には少なからず影響は出てくると思うが、共存共栄で産業振興ができればと思います。市としても様々な施策を行いながら、産業振興を推進していきます。

(会員) 大型商業施設ができることはありがたいことだが、市内でもまだまだ買い物に不便な地域があることも事実なので、これからも調査研究等を行っていききたいです。

(会員) 先日、昭和町にある商店街の見学に行ってきました。昭和の街並みを残し

ながら、店の内装を改装することで活性化を図っていたことが印象的で、その中でも特に印象に残ったのは、商店街のアーケードを取り外すことで、街に明るさが増し、空き店舗が減少してきているというお話でした。

(会員) 商店街のアーケードは消防法上の課題も多く、維持費もかかるため、撤去している商店街もあると聞いています。

(事務局) 農業委員会だよりについて説明させていただきます。

※農業パトロール、農業講演会、その他施策等の案内。詳しくは資料参照。

(3) 連絡調整会議の今後のスケジュール

(事務局) 今後のスケジュールについてですが、次の連絡調整会議は8月頃の開催を予定している。また、昨年も実施した市内へのフィールドワークについても10月に実施する予定である。最後に会長より挨拶させていただきます。

(会長) フィールドワークの訪問先については、皆さまのご希望ご意見等ありましたら事務局までご連絡ください。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。次回の開催は8月、また、フィールドワークを10月、12月にはベンチャービジネスコンテストのグランプリ発表会とシンポジウムを予定しております。今後ともご協力よろしく申し上げます。